

## アジア留学の勧め ～台湾師範大学留学体験記～

### 学生プロフィール

【所属】 都市教養学部都市教養学科経営学系  
【学生氏名】 岡部一輝  
【派遣先大学】 国立台湾師範大学(台湾)  
【派遣時の学年】 学部4年  
【留学期間】 1年間



留学中のベストショット！

日月潭へのバス旅行・スペイン人の留学生と

### ◇ 私が留学を志したきっかけ

私は首都大の交換留学生が居住する国際学生宿舎でレジデント・アシスタントをしていたこともあり、留学生との交流機会が多くありました。共に生活を送る留学生に刺激を受け、海外への興味が強まったことが、交換留学を決めたきっかけです。私は第三言語を習得したいと考えていたため、英語圏以外の大学への留学を検討していました。数ある協定校の中でも、国立台湾師範大学を選んだのは、歴史ある語学学校が併設されているため、充実した環境で中国語を学ぶことができ、英語開講の授業を受けることで、中国語と英語を使った留學生活を送ることができると思ったからです。

### ◇ 留學先での学習について～中国語学習と正規授業受講の両立～

私は中国語の学習経験が無かったため、現地では主に中国語の学習に注力していました。午前中は語学学校、午後は大学の正規授業というのが主な1日の流れです。語学学校では、少人数で1日3時間中国語を学ぶことができるため、学習経験の無い人でも徐々にステップアップしながら、生活の中で中国語が使えるようになります。大学の正規授業は、基本的に中国語で開講されるため、最初はついていくのに苦労しましたが、語学学校の授業を並行して受けていたため、少しずつ理解できるようになり、自分の成長を実感することでモチベーションにも繋がりました。英語開講の授業は週1回程度でしたが、レポート課題が多く課されるため、日々中国語を学習しながらも、英語と向き合う時間を適度に作ることができ、中国語と英語の学習バランスを取りやすかったです。

師範大学語学学校でともに学んだ  
留学生達・先生との記念撮影



## ◇ 日本とは全く違う寮生活を満喫！

台湾では大学の寮で生活を送っていましたが、ここでの生活は私が日本で住んでいた国際学生宿舎での生活とは大きく異なるものでした。1部屋に4人の留学生在と一緒に生活するため、プライバシーがなく最初は戸惑いましたが、寮での生活に慣れれば家族のような関係となり、不思議と楽しく感じていました。私には中国人のルームメイトがいたため、彼らと交流することで中国語の練習をすることもでき、中国語学習には適した環境であったと思います。このような寮生活は中華圏では一般的ですが、生活スタイルが日本とは全く違うため、貴重な経験となりました。

台湾の寮では、部屋にキッチンが無く、夜市で食事をするのが一般的なようです。そのため、私も留学中に自炊をすることはなく、主に大学近くの夜市で食事をしていました。毎日外食をしていると金銭的負担が多いのではと感じるかもしれませんが、物価が比較的安いいため、首都大の奨学金で問題なく生活を送ることができます。



大学寮のルームメイトたち。  
家族のように親しい関係になれたのも、アジア留学の醍醐味です。

## ◇ だから、今、アジア！アジア留学のススメ

留学後も中国語を使う機会は数多くあります。大学で中華圏の留學生と交流する時はもちろんですが、就職活動でもアピールポイントの1つとして活かすことができました。台湾留学、そしてアジア留学の魅力は、金銭的負担が少ないことも挙げられますが、それ以上に、現地の言語を身に付けられること、多種多様なアジアの文化を肌で感じられることにあると思います。留学を通して得るものは人それぞれですが、英語プラスαの何かを得たい人には、是非アジア留学に挑戦してみたいです。



緑あふれるキャンパス